

第8回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会

とき 平成24年10月5日（金）午前10時から

場所 御嵩町中公民館 3階ホール

開 会

1 会長あいさつ

2 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の状況＝平成23年度区間収支報告について

3 議題

- ・名鉄広見線活性化協議会 平成25年度以降の活動について

4 その他

閉 会

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 出席者名簿

<顧問>

平成24年10月5日開催

	役職名等	氏名	備考
県議会	岐阜県議会議員	小原 尚	
	岐阜県議会議員	村上孝志	

<委員>

	役職名等	氏名	備考	
首長	会長	御嵩町長	渡邊 公夫	
	副会長	可児市長	富田 成輝	
	副会長	八百津町長	赤塚 新吾	
議会	監事	御嵩町議会議員長	谷口 鈴男	
	監事	可児市議会議員長	酒井 正司	
		八百津町議会議員長	平岡 富弘	
		御嵩町議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	加藤 保郎	
		可児市議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	伊藤 健二	
教育関係者		御嵩町教育長	丹羽 一仁	
		可児市教育長	大杉 一郎	
		八百津町教育長	有賀 昌司	
		可茂地区高等学校PTA連合会会長	伊藤 英幸	八百津高等学校
		可茂地区高等学校校長会会長 (可児高等学校校長)	岩手 達夫	
		岐阜県立東濃高等学校校長	沢井 和弘	
		岐阜県立東濃実業高等学校校長	鈴木 裕子	
	岐阜県立八百津高等学校校長	飯田 健二	(欠席)	
経済関係者		御嵩町商工会	寺尾 光彦	
		可児商工会議所	佐藤 武司	(代理)
		八百津町商工会	佐合 重光	
		御嵩町観光協会	伊崎 公介	
		可児市観光協会	林 則夫	
住民代表者		御嵩町自治会長連絡協議会	塩澤 隆良	(欠席)
		可児市自治連絡協議会	奥村 幸生	

<関係者（指導・助言）>

	役職名等	氏名	備考
国	国土交通省中部運輸局鉄道部長	加藤新太郎	(代理)
岐阜県	岐阜県都市建築部公共交通課長	鍋島 寿	

<事務局>

	役職名等	氏名	備考
御嵩町	総務部長	鍵谷 昌孝	
	企画調整担当参事	三輪 康典	
	企画課 課長	加藤 暢彦	
	企画課 係長	早川 均	
可児市	企画経済部長	加納 正佳	
	総合政策課 課長	牛江 宏	
	総合政策課 係長	肥田 光久	
八百津町	産業課 課長	田口 博	
	産業課 課長補佐	山内 好仁	

広見線（新可児～御嵩駅間）の概況

営業キロ：7.4キロ

駅数：5駅（有人駅：新可児駅）

基本ダイヤ：2本/時

運行本数：（平日）80本/日、（土休日）72本/日

列車組成：2両

1 輸送人員及び輸送密度の推移

（単位：千人/年、人/日）

種別	年度	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	前年比	13年度比
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
輸送人員 (千人/年)	通勤	346	313	302	312	288	290	289	285	264	266	258	▲3.0%	▲25.4%
	通学	969	808	721	671	641	570	588	582	559	536	524	▲2.2%	▲45.9%
	定期計	1,315	1,121	1,023	983	929	860	877	867	823	802	782	▲2.5%	▲40.5%
	定期外	354	295	280	259	229	221	218	205	186	193	186	▲3.6%	▲47.5%
	合計	1,669	1,416	1,303	1,242	1,158	1,081	1,095	1,072	1,009	995	968	▲2.7%	▲42.0%
輸送密度 (人/日)		3,252	2,834	2,625	2,529	2,420	2,257	2,274	2,234	2,118	2,122	2,065	▲2.7%	▲36.5%

※平成13年10月1日 八百津線（明智～八百津）廃止

2 駅別一日乗降人員の推移

（単位：人/日、%）

駅名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	前年比	平成22年度	前年比	平成23年度	前年比	18年度比
新可児	4,965	5,115	5,113	4,940	▲3.4	4,866	▲1.5	4,763	▲2.1	▲4.1
うち御嵩方面	904	951	971	918	▲5.5	901	▲1.9	899	▲0.2	▲0.6
明智	1,201	1,217	1,185	1,093	▲7.8	1,006	▲8.0	946	▲6.0	▲21.2
顔戸	185	205	199	180	▲9.5	177	▲1.7	186	5.1	0.5
御嵩口	288	293	311	293	▲5.8	320	9.2	330	3.1	14.6
御嵩	1,472	1,471	1,434	1,365	▲4.8	1,378	1.0	1,322	▲4.1	▲10.2

3 収支

（単位：千円、%）

	23年度	(参考)		
		20年度	差異	増減率
収入合計	79,811	89,835	▲10,024	▲11.2
支出合計	266,651	290,987	▲24,336	▲8.4
経常損益	▲186,840	▲201,152	14,312	7.1

（以上）

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)の今後について

基本的な考え方(事務局案)

- 広見線全線(新可児駅～御嵩駅間だけでなく犬山駅間まで)は、地域に必要な社会インフラであると位置づけ、維持存続を基本とする
- 維持存続するため、引き続き財政支援を行う
- 財政支援期間については、次の理由により現行(3年間)よりも長期で考える
 - ①学生をはじめとする沿線住民が安心して選択し利用できる期間であるべき
 - ②単に維持存続するだけでなく、路線を活かすためのより良い方策を見出すための検討期間を確保するべき

地域内人口の推移

(可児市・御嵩町の人口)

H22年

総人口 11万6千人
高齢者人口 2万4千人
(高齢化率=20.7%)

H32年

総人口 11万5千人
高齢者人口 3万5千人
(高齢化率=30.4%)

通学・通勤者の推移

(高校生利用者調査)
(定期券利用カウント)より

H23・H24年

通学者 630人/日
通勤者 358人/日

H32年

通学者 602人/日
通勤者 329人/日

地域住民の意向

(実施済アンケートより)

H20(可児・御嵩調査)

運行継続は必要 68%
運行継続不必要 3%

H24(可児市対象調査)

運行継続は必要 56%
運行継続不必要 20%

広見線代替交通

(現行輸送力同等を路線バスとして想定) 新可児駅⇄御嵩駅間

運行経費 約1.1億円

乗車運賃(運賃&定期)
290円 → 500円

・通勤1月定期
約10千円 → 約22千円

・通学1月定期
約4千円 → 約18千円

活性化協議会として意見集約し方針を決定。その方針に基づき名鉄と協議。

名鉄広見線活性化協議会 平成25年度以降の活動について

活性協活動の方向性5本柱（事務局案）

- ①定期券(通勤定期)利用者の確保 ⇒ まずは役所や学校など公的機関(職員)の取り組みを強化
- ②定期外利用者による集客Ⅰ ⇒ 1市2町が連携し、広見線を使った広域観光の仕組みづくりなど
- ③定期外利用者による集客Ⅱ ⇒ イベントは定期外利用者増加に寄与するものに絞る
- ④情報発信の強化 ⇒ 活性協事務局に加え、構成団体からも積極的に情報発信
- ⑤沿線住民との連携 ⇒ 沿線住民等と連携し、その声を取り込めるような協議会運営

“協議会(構成団体)として何に取り組むことができるのか・・・?”

【図：活性化協議会の目標数値と結果】

(単位：千人)

年 度		H22	H23	H24
輸送人員 (千人/年)	通 勤	308 266	327 258	331 112
	通 学	558 536	558 524	558 232
	定期外	216 193	221 186	222 78
	合 計	1,082 995	1,106 968	1,111 422

※各年度の上段は目標値、下段は実績値
 ※H22・H23の下段は確定値
 ※H24は4-8月までの累計値

通勤定期

①例＝今年度の通勤定期利用者は前年度比で104%(8月期末)の実績となっている。補助制度での定期利用者の掘り起こしは継続していくとして、まずは役所や学校など公的機関職員が率先して取り組むことで、通勤定期利用者の確保につなげていく。

定期外

②例＝可児市・八百津町・御嵩町の観光部局や観光協会などが連携して、1市2町を面的に捉え、広見線を使った観光イベントなどに取り組む。また、各学校間(部活動含む)で広見線を使った交流事業なども促進していく。

④例＝活性化協議会事務局からの情報発信に加え、協議会構成団体からも情報発信することで一層の周知を図る。

こ
れ
ま
で

◆名鉄広見線活性化協議会は、平成22年度～平成24年度の3年間の期間のなかで、「名鉄広見線活性化計画」に基づき利用促進策を展開し、輸送人員の増加を図り収支改善を進めるとの基本的な考え方にて行動してきた。輸送人員を平成24年度末には111万1千人とする目標(上記【図】参照)を掲げ利用促進策＝補助制度の創設やイベント開催・活性化ニュースレター配布などの周知活動を展開してきたが、輸送人員を伸ばすことができず、右肩下がり傾向は止まらない。